

第 1 1 次 金 山 町 交 通 安 全 計 画 の 概 要

第 1 0 次 計 画 の 検 証

◎ 第 1 0 次 計 画 の 目 標

- ・令和 2 年度までに年間の事故発生件数 12 件未満、死者数 0 人、負傷者数 16 人未満

◎ 結 果

(単位：人)

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	平均
件 数	1 5	2 2	1 3	7	6	1 2. 6
死 者 数	1	0	2	0	0	0. 6
負 傷 者 数	2 9	2 4	1 6	9	8	1 7. 2

◎ 課 題

- ・国道での事故（全体の 5 7. 2 % を占める）を減少させることが必要

重点的に取り組む事項

- ① 高齢者及び子どもの交通安全対策の推進
- ② 交差点での交通事故防止対策の推進
- ③ 生活道路、幹線道路における交通事故防止対策の推進
- ④ 夕方から夜間にかけての交通事故防止対策の推進
- ⑤ 衝突時の被害軽減対策の推進

第 1 1 次 計 画 の 概 要

基本的な考え方

- 交通事故のない、安全・安心な金山町を目指す
- 人優先の交通安全思想を基本とし、地域ぐるみで交通弱者を守る仕組みづくりの促進
- 高齢化が進捗しても安全に移動できる社会を構築する

1 道路交通の安全

(1) 最終年度目標（令和 7 年度）

- ①年間の事故発生件数 6 件未満（前全計画期間において 6 件が最も少ない件数）
- ②年間の死者数 0 人（前計画期間では 3 回達成）
- ③年間の負傷者数 8 人未満（前全計画期間において 8 人が最も少ない件数）

(2) 取組みの方向性

これまでの交通安全対策を基本にしつつ、より効果的な対策に向けて改善を図るとともに、目標達成に向け、有効性が期待できる対策を展開していく。

交通安全対策を考える 3 つの視点

- ①高齢者及び子どもの安全確保
- ②歩行者及び自転車の安全確保と遵法意識の向上
- ③町民一人ひとりの意識改革

(3) 5 つの施策

1 道路交通安全のための施策の展開

交通安全思想の普及に向け、年間を通じ各世代に切れ目のない交通安全思想の啓発

- ・全年齢層における「交通安全ありがとう運動」を通じた横断歩行車の安全確保
- ・参加・体験・実践型の交通安全教育の推進
- ・全年齢層の自転車利用者に対してヘルメットの着用を推奨

【運転者】

- ・「人優先」の交通安全思想の下、交通弱者に対する思いやりのあるやさしい運転の奨励
- ・妨害運転及び飲酒運転撲滅、シートベルト全席着用、薄暮時ヘッドライト点灯の促進

【高齢者】

- ・参加・体験・実践型の研修会の開催、運転適用検査相談等の充実、夜光反射材の着用励行

【小学生・中学生・高校生】

- ・歩行及び自転車運転時のルール遵守、自主的なシートベルト着用意識の醸成に向けた取り組みの促進

2 道路交通環境の整備

- ・幹線道路における事故危険個所対策の推進
- ・生活道路等における「人優先」の歩行空間の整備
- ・交通安全施設等の整備促進
- ・地域と一体となった安全な道路交通環境の整備

3 救助・救急活動の充実

- ・迅速な対応に向けた救急医療機関、消防機関等との連携協力体制の強化

4 交通事故被害者等支援の推進

- ・交通事故相談活動の推進
- ・交通災害共済の加入促進

5 道路交通事故原因の調査と分析の充実

- ・警察や道路管理者から事故の原因を聴き取り、交通事故情報等の「見える化」の推進、事故防止の取り組みの促進